

海外生活 エッセー

北京事務所

中国ではとにかくネットが便利！！

(一財) 自治体国際化協会北京事務所 所長補佐 永江 兆徳 (京都府派遣)

→ はじめに

近年の経済発展めまぐるしい中国ですが、実際に中国に来てみて一番驚いたことと言えば、人々が何をすることもネットを活用している、また、そのように実現可能な環境があるということでした。このページでは、中国の人々がどのようにネットを活用しているのかを簡単にご紹介していきます。

→ 驚くほど普及しているサービス

まず、自分が最初に気付いたことは無線 LAN (Wi-Fi) 環境の充実ぶりです。もちろんどこでも無料で、空港やホテルのみならず多くの飲食店でも完備されています。中国では、Wi-Fi 環境があることがもはや当たり前の様子です。日本も見習わなければいけないと感じるところです。

次に、電子マネーの普及も日本と比べて進んでいます。日本では交通系カードがメインですが、こちら中国では支付宝 (ジーフーバオ) や微信支付 (ウェイシンジーフー) と呼ばれる電子マネーが普及しており、携帯電話上で簡単に決済ができます。食事の際の割り勘の精算なども、「100 元 (≒ 2,000 円) 送っておくよ」などと言って簡単にネット上でやってしまいます。タクシーに乗った際も「ネット支払い? 現金?」と聞かれる有様です。

そのタクシーといえば、現在主流なのがタクシーを呼ぶための専用アプリです。GPS で自分の位置が表



タクシーアプリのイメージ

示され、目的地を入力して、近くにいる運転手が OK すれば交渉成立、といったような形です。タクシー乗車中も運転手にはひっきりなしに要求が届き、ビジネスモデルとしても双方 win-win のようです。また、アプリでは、セダンやスポーツカーといった車種も選択可能、送迎・運転代行などバリエーションも豊富です。

→ やっぱりネット通販

そしてネットサービスで忘れてはいけないのが、ネット通販です。人々は、日々の食材や日用品もネットで注文するのです。地元の方に「近所にいい電器屋はないか?」と聞いたところ、「私はネットでしか買物しないから知らない。ネットで買った方が安いよ。」と返ってきたというようなエピソードもあるほどです。

2015 年 11 月 11 日、「1」が 4 つならば日付にちなんだ中国の「独身の日」ネット商戦はもはや風物詩になっていますが、最大手のアリババグループがこの 1 日だけで破格の売上 1.7 兆円を達成したのは記憶に新しいところです。日本企業がセールに参加した様子が日本でも報じられました。

今日も街中に配送用の三輪トラックがたくさん走っているのを横目にして、中国の底知れぬ可能性を感じながら、日本でも参考になるもの、はたまたビジネスチャンスになるものも多いと実感している次第です。



アリババグループの配送用三輪トラック